

第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展

藤森照信氏による日本館は

卓越した功績をあげた館として評価されました

イタリア・ヴェネチアで9月10日より開催されていた第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展は、11月18日に無事終了しました。

建築史家で建築家の藤森照信氏をコミッショナーに、藤森建築と路上観察学会のこれまでの活動の全貌を紹介した日本館は、ビエンナーレ審査員より、「そのフォルムの完全さ」と「来館者に至福の喜びを与えた」ことにより、卓越した功績をあげた3館の筆頭に名前をあげられました。表彰式にはジャパンファウンデーションの大久保良夫理事が出席し、審査員から「日本館は独自の哲学を持っており、来館者に強い印象と感銘を与えた」として賛辞を受けました。

なお、最優秀パビリオン賞(金獅子賞)はデンマーク館が受賞しました。また日本館とともに卓越した功績をあげたと称されたのは、アイスランド館及びマケドニア館です。

第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展 日本館概要

テーマ 藤森建築と路上観察 - 誰も知らない日本の建築と都市 -

コミッショナー 藤森 照信 (建築家・建築史家・東京大学教授)

参加者 藤森 照信
赤瀬川 原平 (作家・画家)
南 伸坊 (イラストレーター)
松田 哲夫 (編集者)
林 丈二 (作家)
杉浦 日向子 (漫画家・江戸風俗研究者、故人)

- * 実際の展示の様子は、国際交流基金 HP でもご覧になれます
<http://www.jpff.go.jp/venezia-biennale/arc/j/10/02.html>
- * 本展帰国展を、2007年4月14日より7月1日までの会期にて、東京オペラシティアートギャラリーにて予定しております。
- * 日本語版小冊子入りカタログは、ジャパンファウンデーション(東京都港区)内の JFIC ライブラリーにて販売しております。

お問い合わせ：芸術交流部 造形美術課 担当：岡部(電話：03 - 5562 - 3529)